

海津木苑運営委員会（令和2年度12月期）

会議録

1. 日時： 令和2年12月18日（金）15時00分 開会
2. 場所： 旧古賀市勤労者研修センター 2階研修室

3. 出席委員（11名）

委員長	結城 弘明	委員	智原 和子
委員	簗原 弘二	委員	内平 晃二
委員	清原 秀則	委員	清原 透
委員	三好 収	委員	三好 貴一
委員	安武 正一	委員	横田 昌宏
委員	星野 孝一		

4. 欠席委員

内場委員 森委員 河北委員

5. 傍聴者数（名）

6. 事務局出席職員職氏名

市民部長	清水 万里子	環境課長	智原 英樹
海津木苑長	吉田 義昭	海津木苑係長	国本 勝喜
海津木苑職員	三好 弘実		

概要

15:00 開会

1. 委嘱所交付
2. 古賀市あいさつ
3. 委員長あいさつ
4. 運営委員会委員（自己紹介）
5. 事務局・海津木苑職員（自己紹介）
6. 副委員長の選出
7. 協議事項及び報告

- 1) 会議録について（事務局より説明）

- (1) 10月期運営委員会会議録
- (2) 12月期運営委員会会議録署名

資料.1

[質疑・意見] なし

2) 海津木苑運営に関する実施状況について 資料.2 (事務局より説明)

・令和2年10月及び11月の処理状況について

[質疑]

委員 : 11月までの2020年度の搬入量の累計が、7772.8k l。前年2019年の11月累計が、7325.1k lで搬入対比が106%になるかと思う。447.7k l増えているので、それを踏まえて次のページの試験及び検査結果の2020年度の脱臭用薬品の中で、硫酸が11月現在の累計で、240kg使用している。2019年同月累計は、449.4kg。累計対比で53.4%になる。搬入量は106%に増えているのに対し、硫酸の使用量は前年度累計対比で53.4%に減っている根拠を伺いたい。

[答弁]

海津木苑長 : 2020年度11月までの硫酸累計が240kg、前年同月使用量が449.4kgで搬入量が増えているのに硫酸使用量が約半分に減っているということだが、酸洗塔というところで使用する薬品になるが、脱臭設備というところが3つに分かれている。酸洗塔、硫酸を使用して洗浄する箇所、アルカリ洗塔、苛性ソーダを使用して洗浄する箇所、次亜洗塔、次亜塩素酸ソーダを使用して洗浄する箇所に分かれる。3つの箇所で薬品をシャワー状にして臭気を中和している。循環ポンプを使用しているがシャワー状になる道中の配管であったり、アルカリ洗塔、次亜洗塔の水を抜いて、水を溜めて硫酸(酸)で洗浄して配管内のスケール除去に使用したため、前年の使用量が多くなっている。

[質疑]

委員 : 結論として、し尿の搬入量に比例するものではないと言う認識でいいか。

[答弁]

海津木苑長 : そのとおりである。

[質疑]

委員 : 1ページ目の電力のところだが、前年度平均値と今年度平均値、金額を見ると約80%今年度の方が安い。前年度に聞いた記憶があるが、電力については市の公共施設全体の単価について、業者と契約している。私の記憶ではまた、九州電力に戻ったという記憶があり、電力単価が下がったと認識しているがその結果ということよろしいか。

[答弁]

海津木苑長 : 昨年度12月、九州電力に切り替わった。11月までが伊藤忠ネクスコであった。最大割引というところで、30万円弱の値引きで前契約していた金額より安価になっている。

3) 令和2年度臭気測定(第2回)及び令和2年度騒音・振動測定結果について

・測定実施日(令和2年11月12日(木)) 資料3-1 ~ 資料3-4

[質疑・意見] なし

4) 海津木苑施設等啓発について 資料.4

[質疑]

副委員長 : 啓発ご苦労様です。コロナ禍の中、危険な状況だと思うが、この状況を逆手にとって、映像の啓発(リモート)の話があったが、今からの時代だと思うのでは、非、取り組んでいただきたいのと、どのくらいの期間で第一弾のリモート啓発ができるのかを尋ねる。

[答弁]

海津木苑係長 : 現在、海津木苑の管理棟移設工事でシステムを移動しているが、詳しい方に聞いて図を描いている。どのような形にすれば、映像がリモートで出せるのかというのを聞いている。今年度中には試験ができるようにしたいと考えている。

[意見]

委員 : 一番安価で早いのが、スマートフォンのラインのビデオ通話で、海津木苑側にスマートフォンを持った人が撮影をしながら学校側にいる人とラインでつないで、ラインの画像をテレビ画面に映せば出来る。

[質疑]

委員 : ゲストティーチャーのやり方は事前に小学校に行き、担任の先生とすり合わせて、カリキュラムの中身等話をされていると思うが、受講者の感想と言うのは、古賀西小学校の職員の感想で間違いはないかというのが一点、もう一点がゲストティーチャーをやるのはいいと思うが、やった後に担任の先生や職員の方と、どうだったかという振り返りとか行っているのか。学校の先生も参加されているのか尋ねる。

[質疑]

委員 : 私のところではグループホームという高齢者の施設をしており、古賀西小学校の子どもたちが交流をしているが、前の事前調整、どのような中身で行っていくかというのを学校側と打ち合わせをしている。事後のことも大切だが、事前のことも、どのように行っているのか。

[答弁]

海津木苑係長 : 一点目についての回答だが、受講者の感想については、古賀西小学校職員の感想になる。ゲストティーチャーについては、事後の話ができていないのが現状である。古賀西小学校の職員研修前に、授業参観に出席した。その中では、授業を見ながら「ここはこうやった」という話はさせて頂いたが、通常のゲストティーチャーにおいては、話す時間を持っていない。

ゲストティーチャーを行う前に、担任の先生に海津木苑に来ていただき、何を伝えたいのかという話をして、打合せを行っている。

学習の後にそれぞれの学校で行っている発表会にできるだけ出向き、子どもたちがどう感じたのか、どんな発表を行うのかを見に行っている。

[質疑]

委員 : 確認だが、ゲストティーチャーには教職員の方は参加されないのか。

[答弁]

海津木苑長 : ゲストティーチャーは、小学校4年生の授業で担任の先生は参加されている。他の先生は参加していない。

[意見]

委員 : その上で、委員が言うように、事前の意見交換をされて、ゲストティーチャーを行い、4年生の担任も一緒に参加し、話は聞いている。実施後については、特に行っていないということだが、私が思うには、後日ではなく終わった後に30分でも1時間でもいいので今日の内容はどうだったかという振り返りは大事だと思うので最低でも学年主任の先生には残っていただき、例えば古賀西小学校で実施したゲストティーチャーの課題「こういうのが駄目だった」というのをやっていかないと、ただやるのが目的でこなすだけになっても意味がないと思うので是非やっていただく必要があるのではないかと。

[答弁]

海津木苑長 : 委員より、貴重な意見感謝する。事前の打ち合わせも大事であるし、事後の課題等の反省会も行うよう前向きに検討する。

[質疑]

委員 : 関連する話になると思うが、受講者の感想のところ先生に感想が書いてあるが、「排育を初めて耳にしました」という感想がある。年齢がいくつぐらいの先生か分からないが、人権教育の研修・人権啓発の研修のときには必ず海津木苑の話がされているはずだと思う。排育という言葉はその中で出てきている。残念ながらこういう文字が書かれてあるという事は、人権啓発の回数・参加者にも大きく影響、関係してくるのではないかと気がする。

生徒たちに対して排育の教育は大事なことだが、もっと先生方に人権啓発を含めて、子どもたちに自分たちが教えてあげるような勉強をしていただく必要があるのかと感じた。

[答弁]

海津木苑長 : 排育という言葉は初めて聞いたという先生の意見だが、古賀西小学校の先生の中には、赴任されて初めて研修を受けられた先生と思う。色々な機会を設けて海津木苑の研修をしているところだが、もっと研修をしていかなければならないと思う。

[意見]

委員 : 旧し尿処理場が閉鎖になった時のことを考えてもらわないといけないと思う。今ここは地元から離れていて、でてこないが、古賀西小学校の児童に一回作文を書かせたらどうかと言ったことがある。差別がでてくるんじゃないか。その辺を行政が一番考えてもらっておかないといけない。

私がし尿処理場に3年いて、清掃工場に28年いた。子どもたちが施設見学に来た時に「おいちゃん臭くない」「今の仕事に誇りもっとう」と聞かれる。その辺の意見がでてこないの、子どもが言うんじゃないかと思う。その時にあなたたちがどう答えるのか聞きたい。今の施設は臭いがしていないが、高田のようにあの人は臭い、こういう言葉も出てくるかもしれない。その時に職員がどういった対応をするのかというのが一つ問題だろうと思う。

[意見]

委員 : 海津木苑ができた時から、小学校4年生を対象に見学を行っている。それは学

校で差別事件が起きたという状況で、当初は4年生というのは非常に難しかったのかと思うが、年数がたつにつれ、職員の頑張りもあり、子どもたちが海津木苑で働いている人たちは非常に優しいねという作文を書いてきて、それを自分も見ることがあるが、子どもたちだけが捉えるのではなく、学校の先生たちがしっかり捉えるような形でやっていかないと子どもたちの隅で差別事件が起きるような状況になってくると思う。ゲストティーチャーでやることも大切だと思うが、学校の先生を対象とした啓発をしっかりとやっていき、先生がしっかりと捉えるような形になっていかないと学校の中で差別事件が起きたら大変。当初に言ったが、海津木苑から色々な組織が出来ていったと思うが、海津木苑の成果だと思う。こんなこと言うのは厳しいかも知れないが、それ以上に海津木苑の職員が頑張ってもらわないと学校で起きるような状況、小学校4年生を対象にした啓発・見学色々なことを行い、そこからしっかりと啓発をやっていかないと差別がなくなっていけない。その辺りを職員には十分に考えてもらいたい。

8. 報告事項

次期し尿処理施設について

- ・古賀市次期し尿処理施設に関する事前打ち合わせ（第25回）11月4日（水）
- ・古賀市次期し尿処理施設に関する事前打ち合わせ（第26回）11月26日（木）
- ・古賀市次期し尿処理施設に関する事前打ち合わせ（第27回）12月15日（火）

【意見】

委員 : 8. 報告事項の3回の打合せだが、27回目が12月15日に行った。27回目の打合せにおいて、次期施設の協定書・覚書についてほぼ市の方と地元の方は同意に至った。ただこれに関するものが少し残っている。年明けに協議を行うこととしている。総合的にはその協議が終わってから終了する。今の段階で説明できるのは以上である。

9. その他

【質疑・意見】 なし

16時25分 閉会

以上

この会議録が正確であることを証明するため、会議録署名人として次に署名捺印する。

令和 3 年 月 日

委員長

印

委員長の指名する
出席委員

印